

東海道と交差する安倍川に架かる橋の年表

初代 安水橋

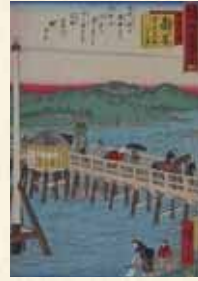
- 明治 6年(1873) 9月 工事着手
- 明治 7年(1874) 3月 完成

2代目 安水橋

- 明治36年(1903) 完成



2代目安水橋



初代安水橋
郵政博物館提供

安倍川橋

- 大正11年(1922) 3月 工事着手
施工:勝呂組
(現三井住友建設株)
- 大正12年(1923) 7月23日 **完成**



上部リベット打ち
(写真提供:三井住友建設株)

- 昭和37年(1962) 安倍川橋は国から県に移管
(国道1号線の駿河大橋完成に伴う)

- 昭和39年(1964) 東京オリンピック聖火ランナーが
安倍川橋を通過

- 昭和43年(1968) 4月 歩道の設置



- 平成 2年(1990) 3月 アーチ橋への
架け替え
東京オリンピック聖火リレー
(写真提供:戸井昭則氏)

- 平成17年(2005) 4月 安倍川橋は県から市に移管
(静岡市の政令市移行に伴う)

- 令和 5年(2023) 7月23日 **安倍川橋100周年**

アクセス | 散策の際は路線バスをご利用ください。



しずてつジャストライン (所要時間 約17分)

静岡駅前	丸子線・中部国道線・丸子小坂線	手越
	牧ヶ谷線	手越北
	東新田下川原線	手越南

【お問合せ】静岡市 建設局 道路部 道路計画課
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 Tel.054-221-1239

協力:静岡市立長田北小学校 デザイン:株式会社すーらいふ 発行:令和5年3月
安倍川橋建設100周年記念事業寄附協力:三井住友建設株式会社、F-ビー建設工業株式会社

安倍川橋のヒミツ

時代に合わせて 工夫を重ねて 使われてきた安倍川橋



来たる自動車時代に対応するため、大正8年、国は初めて道路法(旧道路法)を制定し、全国で64の国道を定めました。これを受け、国道1号筋である安倍川橋の改築工事を実施。大正時代には市内でバス事業やハイヤー事業が創業していましたが、自動車が一般家庭に普及するのは戦後の経済成長期です。安倍川橋は、自動車交通に耐えうる構造で造られた初期の橋ですが、建設に関わった当時の人は、現在の自動車社会をどこまで想像していたのでしょうか。安倍川橋は100年間、まちの変化に合わせて工夫を加えながら使われてきました。

歩行者用の橋を併設

昭和30年代以降、自動車交通が急激に増加したため、自動車と歩行者がそれぞれ安全に通行できるよう、昭和43年に下流側に歩道橋が併設されました。



歩道橋設置工事
(写真提供:市川土木株)

長田北小学校の子どもたちが 一生懸命調べてくれました

小中一貫教育で取り組んでいる「おさだ学」では、地域を愛し、地域に貢献する子の育成を目標に掲げています。安倍川の自然や安倍川花火大会のことなど、一人一人が課題を立てて探究活動に取り組んでいます。子どもたちが調べた情報をマップの素材として使わせてもらいました。裏面のマップQRコードからは、子どもたちがまとめたスライドや活動の様子をそのまま見ることができます。

3年生 ジャコウアゲハを守ろう

ジャコウアゲハは黒くて大きなチョウチョです。その卵を学校で大事に育てて、成虫にして自然に返す活動をしています。ジャコウアゲハは安倍川周辺で見られる固有種です。いつまでもジャコウアゲハが飛ぶ長田北学区にしたいです。



学校裏の土手に自生するウマノズクサとジャコウアゲハの幼虫の観察をしています

ポスターを作成して
保護を呼びかけています



5年生 安倍川の魅力を伝えよう



専門家と一緒に調査活動をしました



安倍川の魅力を発表しました

アーチ橋への架け替え

長田地区の開発による人口増加とともに、橋の利用者も増えました。それに伴い安倍川橋西側の交差点で右折待ちの車両による渋滞が深刻化。平成2年右折レーンを設けるために2連のトラスを撤去して、3車線分の幅を持つアーチ橋に架け替えられました。

写真左側が新しいアーチ橋、右が古いトラス橋
(写真提供:池田力也氏)



コンクリート巻き立てによる橋脚補強 1.施工前 2.施工後

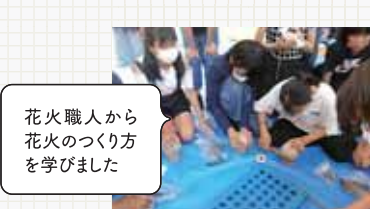
長く使うための工夫

1. 昭和44、59~62年にかけて水害による沈下対策を実施しました。
2. 地震等による落橋防止と、コンクリート巻き立てによる橋脚補強をしました。
3. 鋼材の腐食防止のため昭和53年、平成24年に橋の塗替えをしました。

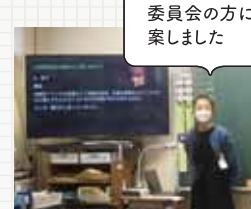
長田北小学校



6年生 安倍川花火大会の魅力を伝えよう

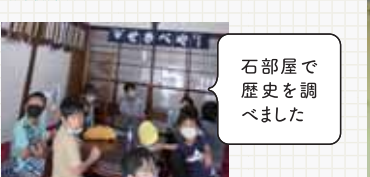


花火職人から花火のつくり方を学びました



今後の花火大会のあり方を実行委員会の方で提案しました

けやき学級 安倍川歴史散策

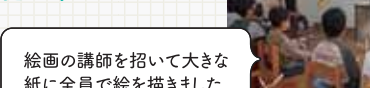


石部屋で歴史を調べました



安倍川橋周辺の史跡の探索をまとめました

夢の安倍川橋を描こう



絵画の講師を招いて大きな紙に全員で絵を描きました

安倍川橋建設



安倍川橋建設100周年記念

地元小学生がおすすめする /

安倍川橋 散策マップ

=にし編=

2023年に建設から100年を迎えた安倍川橋。
東海道に架かる橋とその周辺には魅力が盛りだくさん!
このマップを持って散策に出掛けてみませんか。



上/長田北小学校けやき学級の子どもたちの絵画
下/長田北小学校4年生の安倍川を飾る竹灯りの作品

PROFILE

名前	安倍川橋(別名 弥勤橋)		
誕生日	1923年7月23日		
長さ	490.91m	材質	鋼橋
形式	ポーストリングトラス橋(12径間×35m) アーチ橋(1径間×70m)		



01 安倍川 (自然、歴史、災害、安倍川もち)

安倍川は、延長51km、流域面積567km²の一級河川で、流域すべてが静岡市内に含まれ、静岡市街地を流れて駿河湾に注ぎます。環境省の「平成の名水百選」に選ばれるなど、透明度が高く、清流として有名です。「安倍川」の語源の由来は、「昔の安倍郡の安倍」「低湿地を意味するアベ」「アイヌ語のアベ(火)」など所説あります。



02 安倍川花火

安倍川沿いの河川敷で毎年約15,000発が打ち上げられる、東海地方でも有数の花火大会です。戦後の復興へ歩み始めた昭和20年代後半、静岡大空襲で犠牲になった人々の慰霊のため、田町学区の元静岡市議で青年団長だった杉山伊三雄らによって始められました。



03 泉秀寺

全国各地を行脚しながら神仏像を彫り続けていた甲斐国生まれの木喰(もくじき)上人(1718~1810年)が、83歳で泉秀寺に滞在した時に、裏山の楠で2体の仏像を彫り奉納しました。仏像は今でも本堂に祭られています。



04 金山(妙音寺)

日蓮聖人の直弟子、日禅上人により1330年に開山されました。静岡大火の後、駿府・寺町(現在の常磐町付近)から移転。山頂からは、安倍川や南アルプスを一望でき、風光明媚な場所として知られています。



05 高林寺 白馬伝説

地元では「ごりょうさん」と呼ばれる高林寺に残る伝説があり、駿府大火の際、浅間神社から神馬の一頭がこの寺まで逃げてきたといわれています。境内の「木馬堂」には白馬(木像)が祭られています。



06 舟山 木魂伝説

葦科川合流部にある標高43.5mの川中島。縄文時代の土器や斧が出土し、何千年前から人が住んでいました。上流の木の枯らした森の間には「木魂伝説」があり、木魂明神が舟山神社に祭られています。



07 松雲寺

1600年開山。現在地より南へ約300mの千手の谷と称する地にあった千手院を密山周公が移転し、徳願寺10代斧山宗鋤和尚を開山に拝請し、山号を西河山、寺号を松雲寺と名付けたことに始まります。



08 旧東海道の巨木

徳川家康が幕府を開いた翌年に、東海道ををはじめとする諸国の街道の両側に松や杉を植えたという記録が残っています。これらは路標の役割を果たし、夏は緑影を、冬は雪や風から旅人を守ってくれました。



09 手児の呼坂 万葉歌碑

「東路の手児の呼坂越えて去(い)なば我れ(あれ)は恋ひむな後は逢ひぬとも(あなた)は手児の呼坂を越えて東国へ行ってしまふ。再び会えないかもしれない」命がけで旅する愛しい人を心配して詠んだ唄です。



10 万葉の道・手児の呼坂

最古の道「東路(あずまじ)」の一部。丸子から宗小路(そうこうじ)を通って手越へ抜ける峠道で、東海道を整備されるまで多くの旅人が行き交いました。山道は昼間でも薄暗く、昔の旅人気分を味わえます。



17 手児の地藏

昔、お殿様が不在の間に奥様が懐妊し、生まれた子が手だけ(手児)であったため、お殿様は手児を橋の下に捨てたといえます。手児の供養のためのお地藏様が「東林寺」の参道入口に祭られています。



18 東林寺

昔から「手越の灸」で知られていたお寺です。寺史によると1653年頃、人々の治療のためにお灸が始められたといえます。静岡で活躍した左官職人・森田鶴堂が描いた「十六羅漢像図」を所有しています。



安倍川橋の西側周辺 散策マップ

01~18の項目は、長田北小学校の子どもたちが詳しく調べた資料が見られます。QRからご覧ください!



資料はこちら

安倍川橋の東側周辺 散策マップに続く

11 白瀧不動滝

「猿郷(さるごう)川」の上流にあり、白瀧不動尊の御神体になっている落差5mほどの長田北区唯一の滝です。森の中はとて涼しく空気が澄んでおり、サワガニたちが出迎えてくれます。

13 ジャコウアゲハとウマノスズクサ

大きさ42~60mm。長い尾状突起と腹部の赤が鮮やかな蝶です。名前は「麝香(じゃこう)」の香りに由来します。顔のウマノスズクサ類は、鳥が苦手とする有毒成分を含むため鳥に襲われることが少ないです。

12 桜山(心光院)

源平合戦で危険にさらされた平頼盛(平清盛の弟)が、妻子を手越平太家綱に預け避難しました。頼盛が妻子のため、心光院の裏山に千本の桜を植えたといわれています。

14 徳願寺

1457年に北条早雲の妹で今川義忠の正室、今川氏親の生母である北川殿により開基・改宗された曹洞宗寺院です。山号は「大窪山」と称します。苔むした参道や、富士山をバックに臨む市街地の絶景が印象的で、サザンカの名所でもあります。

15 少将井神社

一ノ谷の敗戦で捕虜となり、鎌倉で憂いの日々を過ごす平重衡を慰めるよう源頼朝は手越長者の娘・白拍子千手の前を遣わせました。2人は心を通わせましたが、重衡は京都へ送られる途中で殺されました。嘆き悲しんだ千手の前は、尼となり重衡を弔いつつ生涯を閉じました。少将井神社の場所は、手越長者の館跡と伝えられています。

16 宮崎総五

明治7年、私財を投じて安倍川に初代安水橋を架けました。これは有料橋でしたが、工事費用回収のあかつきには通行量を無料とする約束をしました。毎年の大雨のために橋の修理が必要となり工事費用は回収できませんでしたが、最終的に修理費用を付して県に橋を寄付しました。その後、安倍川橋の通行料、技術等が参考となり、富士川や大井川をはじめその他多くの架橋事業に繋がって東海道の近代化へのきっかけとなりました。

